備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

（平成21年度事業）

事業の概要

事業開始年度			平成17年度（昭和38年度）
総合計画 大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり
小項目	施策	08	水資源開発と水利用
事務事業名		01	水源管理事業

根拠法令・例規等	水道法・
問合先 担当課（室）	水道課
職・氏名	施設係長・吉栖　満
電話	0869－66－9794
このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的

対象（誰・何に対して）	市内の上水道利用者
目的（何のために）	常に安定した安全な水を市民に供給できるよう、水資源の確保と水源施設の管理を行う。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	コストの削減

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
水源施設維持管理事業	常に安定した安全な水を供給するために、取水施設、浄水施設、送水施設の維持管理を行う。	◎
水源保護審議会運営業務		○
岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	岡山県広域水道企業団運営負担金	○
吉井川坂根堰管理負担金	吉井川坂根堰管理負担金	○
八塔寺川ダム管理費等負担金	八塔寺川ダム管理負担金	○
吉井川下流水利用連絡協議会会費	吉井川下流水利用連絡協議会への会費	○
吉井川坂根堰利用者協議会会費	吉井川坂根堰利用者協議会への会費	○

事業費等

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	74,657	69,827	65,866
	必要人員 人件費		2.03人 18,071	1.56人 14,641	1.44人 13,287
	事業費計		92,728	84,468	79,153
財源	国県支出金	千円	960		
	受益者負担		91,182	81,396	79,153
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源		586	3,072	
受益者負担比率		%	98.3%	96.4%	100.0%

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	説明		1㎥の水に対する動力費		
	結果指標量	㎥	6,451,500	6,339,000	6,184,600
	対前年比	%	－	98.3%	97.6%
	活動コスト	円	47,146,000	50,758,000	45,006,000
	単位当たりコスト		7.31	8.01	7.28

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
水１㎥に対する動力費	目標値（A）	7.1	7.1	7.1	7.1
	実績値（B）	7.31	8.01	7.28	到達目標値
	達成率（A/B）	97.13%	88.64%	97.53%	7.1

成果指標設定の考え方・式や説明

ポンプを効率良く運転し動力費を削減する。

事務事業の評価

妥当性の評価（市の関与の妥当性必要性／市民ニーズ）

- ☑ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☐ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ☐ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**A**

効率性の評価（コスト手段）

- ☐ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**B**

有効性の評価（目的達成度市民参画度）

- ☐ 成果指標の設定は適切である
- ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☑ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- ☐ 法定事務 ・ 内部管理事務 であり成果は求めにくい
- ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**B**

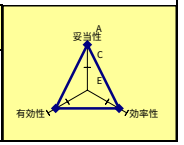
進行年度（H22年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	引き続き水源の確保は重要であり、浄水場の維持管理を行い効率の良いポンプ運転に努める。						

総合評価

水質基準に適合した安全な水道水を使用者に供給するためには水源の確保は重要である。また、浄水場も常にきれいに維持しポンプも効率の良い運転に心がける。

評価区分 <A～E>：**B**



方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	水源の確保と安全な水を効率良く供給する。						